

フライン/スペシャリティ

日本初の投げ込み発泡型

省力化 来年から本格販売 に貢献

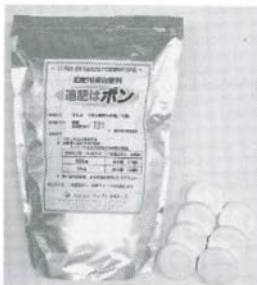
フアイトクローム

肥料や植物活性剤などを開発・販売するフアイトクローム(本社・東京都千代田区一番町)はこのほど、肥料業界で初となる水田用発泡型投げ込み肥料を発売した。入浴剤のように水に入れると発泡しながら溶解し、成分が均一に拡散していく。農薬ではジャンボ剤という剤型で広く普及しているが、肥料では日本初の製品となる。農家の高齢化や兼業化が進むなかで簡便に施肥作業ができるというメリットがある。今年は数量限定販売とし、来年から全国で本格販売する。

一袋に四十錠入っており、十ヶ当たり四十錠施肥すると、窒素投下量が五百gとなる。追肥時期は、一袋に四十錠入っており、十ヶ当たり四十錠施肥でき、水田に五ヶ以上水を入れて畔から投げ込む。小売価格は一袋が

二千円台前半となるという。広く全国の農協で扱ってもらうことを目指す。

フアイトクロームは二〇〇二年一月の設立で、「与える農業から引き出す農業へ」をコンセプトに、植物本来が持つ力を引き出す酵母由来のアミノ酸、キトサン、オリゴ糖、トレハロースなどを成分とした各種の肥料や植物活性剤を販売している。今後も施肥作業の省力化に貢献できる製品の品揃えを拡充していく。



フアイトクロームが発売した新製品は「追肥は」

「商品名」七月十日付で肥料登録を取得した。保証成分は、窒素二五%、水溶性カリ二%。発泡剤一個の重さは五十gで、水に

投げ込むと約七割の範囲に拡散する。肥料切れの部分追肥、初期一発型肥料の調整肥料として活用できる。とくに七月、八月の暑い時期に水田の中の大きな作業負担となる追肥作業の省力化に貢献できる製品として普及を図る。

●化学工業日報
2006/7/18 掲載記事